

— 将来も住みよい環境を維持するために —

皆さんと一緒に、以下の取り組みを進めます。

①会計の透明化

経営状況を明確にするため、下水道事業も令和2年度から企業会計に移行しました。

企業会計は、一定の評価基準に従って整理するため、老朽化対策などの適切な対応と資金調達の必要性が明確にできます。

両事業ともに、今後も適切な会計管理に努めます。



②処理区の統廃合

非効率な処理も解消するため、区域の見直しや処理場の統廃合を進めます。

既に下水道事業では、久々野町の上中処理区、国府町の荒城処理区、奥飛驒温泉郷の福地処理区において、隣接する処理区への統合工事に着手しています。



③将来を見据えた計画的な設備の更新

設備が全体的に老朽化していることに加え、大地震を想定した耐震化も急務になっています。

これらの設備は、特殊なうえに、処理を継続しながら更新しなくてはなりません。また、工事の際には非常に高額な費用が必要となります。

そのため、設備点検をしっかりと行い、部品などの交換でできる限りの延命化を図ります。

老朽施設の更新にあたっては、処理能力が実情

に見合った規模となるよう規模の最適化を検討し、更新費用と維持管理費の低減を図っていきます。

また、毎年の事業費用が同程度になるよう、計画的に更新を進めます。



④財源の確保

今後も、補助金などの財源獲得のため、国や県の支援制度を適切に活用します。

また、支払われていない使用料金は確実に徴収できるよう努めます。



⑤料金水準の適正化

今後、人口減少はさらに加速すると予測され、使用料金収入も減少を見込んでいます。

施設の統廃合や維持管理の効率化などにより徹底した経費削減を行います。が、継続的な資金不足は避けられません。

現在据え置かれている使用料金の改定も視野に入れながら、早期の経営改善を図ります。



皆さんへのお願い

水道も下水道も、生活に欠かすことのできない大切なライフラインです。将来も持続的にこれを維持していくためには、皆さんのご理解とご協力が不可欠です。

水道・下水道を正しく使い、適切に使用料金を納めていただくようお願いいたします。